

# 中央アジアの未知の国、トルクメニスタンの世界遺産を訪ねる旅

Travel Plaza JAPAN

	City	Trans	Time	Itinerary	M
1	関西空港(参考) 羽田空港 北京 北京 アシガバット	CA-162	09:55	関西空港	機
		CA-184	08:30	羽田空港より中国国際航空にて北京へ	
		T5-606	11:30	到着後、各自乗り継ぎ手続	機
		専用車	13:45	北京発、トルクメニスタン航空にて、空路首都アシガバットへ、アシガバット空港到着後、入国手続き	
			18:10	到着待合室にて日本語または英語ガイドの迎え 専用車にてアシガット市内ホテルへ	D
2	アシガバット	専用車		ホテルにて朝食	B
				専用車にて終日アシガバット市内及び郊外観光へ 午前:トルクメニスタンの名馬、アハル・テケの馬場 中央アジア最大のキプチャク・モスク観光 郊外のレストランにて昼食 午後:国立中央博物館と世界文化遺産、ニサの遺跡観光 夕食は市内のレストラン	L
				アシガット市内ホテル	D
3	アシガバット  ダシュオグズ クフナウルゲンチ	専用車	06:00	早朝の国内線でウズベキスタン国境近くのダシュオグズへ	B
		T5-101	06:50	到着後、専用車で市内レストランにて朝食	
		専用車		午前:古都クフナウルゲンチの世界遺産観光へ クトゥール・ティムール・ミナレット、トレベク・ハムニ廟他	L
		4駆	13:00	郊外のレストランにて昼食	
		専用車	18:00	午後:専用車でダルヴァザへ向かいます。夕刻ダルヴァザ着、4輪駆動車に乗り換えて砂漠の中のガス・クレーター地獄の門へ、夕食はバーベキューその後、アシガットへ	Q
			00:30	アシガバットへは深夜到着	
				アシガット市内ホテル	
4	アシガバット  トルクメンバシ	専用車	08:30	ホテルにて朝食、専用車で空港へ	B
		T5-241	09:30	早朝の国内線で、カスピ海沿岸の町、トルクメンバシへ	
				到着後、専用車にて壮大な砂漠の中を走りヤンギ・カラへ途中、奇岩群の観光	Q
				昼食は、ヤンギ・カラにてバーベキュー、その後、トルクメンバシへ戻り市内観光、夕食は市内のレストランにて	
		T5-248	23:55	夜の国内線にてアシガバットへ	L
			00:50	着後、専用車にて市内のホテルへ	
				アシガット市内ホテル	
5	アシガバット  マリ	専用車	08:00	ホテルにて朝食、専用車にて空港へ	B
		T5-241	08:40	午前便の国内航空にてマリへ移動します。	
		専用車	12:00	到着後、ガイドと共に世界遺産、マルギアナ遺跡観光	BL
			13:00	昼食はボックスランチ	
			18:00	午後はメルブ遺跡の観光へご案内いたします。 夕食は市内のレストランにて、	D
				マリ市内ホテル	



このプランへのお問合せ・お申込みは

親切 丁寧 安心 便利、ツアーメイト専門旅行社だから出来る貴方だけのオンリーワンの旅  
こだわりの旅(特許庁登録商標)・株式会社トラベルプラザ

TEL : 0274-22-5500 FAX : 0274-22-5400

E-MAIL : info@travel-plaza.co.jp

6	マリ	専用車 T5-127	09:40	ホテルにて朝食、専用車にて空港へ	B
	アシガバット		10:20	午前の国内航空にてアシガバットへ向かいます。	
	アシガバット	T5-607	12:00	着後、専用車にてアシガバット市内へ 午前はアシガバット市内の観光へ	L
			17:00	市内レストランにて昼食	
			19:15	午後は市内の中央バザール等ショッピングへ 夕刻、空港へ送ります。着後搭乗手続き 夕刻のトルクメニスタン航空にて帰国の途に	
					機
7	北京 北京 羽田空港 関西空港	CA-181	05:05 08:35 12:50	北京空港に到着、各自乗り継ぎ手続 中国国際航空午前便にて羽田へ、または関空へ 羽田空港 到着	

{ ご注意 }

上記旅程は、まだ日本に乗り入れをしていないトルクメニスタン航空(T5)にご興味のある方へ参考旅程です。北京の空港での乗り継ぎは、第3ターミナルから、第2ターミナルへ移動になりますので北京空港ではかなり乗り継ぎ時間が忙しいと思いますので、日本各地からの便はもう少し早い便でご出発を計画されますと良いかもしれません。尚、トルコ航空のイスタンブール経由又はエミレーツ航空のドバイ経由等も一考かと思えます。旅程内容もかなりハードなスケジュールです。日程に余裕があるなら、ダルヴァザの地獄の門でのテントを使ったキャンプ泊も面白い筈です。またウズベキスタンのヌクスから陸路国境を越えて、マリから再度ウズベキスタンのブハラ～サマルカンド経由タシケントへの旅程もお奨めです。その場合は成田からタシケント往復の国際線でご計画ください。

利用航空会社:トルクメニスタン航空(T5)参考

<p>中央アジア 未知の国 トルクメニスタン</p> <p>ウズベキスタン</p> <p>トルクメニスタン</p> <p>イラン</p> <p>カラクム砂漠</p> <p>地獄の門</p> <p>アシガバット</p> <p>マリ</p> <p>メラブ遺跡</p> <p>サマルカンド</p> <p>ブハラ</p> <p>トルクメニバシ</p> <p>ダシュホヴァズ</p> <p>チャルジョウ</p> <p>マシュハド</p> <p>カスピ海</p> <p>アラル海</p> <p>陸路国境</p> <p>陸路国境</p> <p>陸路国境</p>	<p>&lt;その他の航空会社&gt;</p> <p>トルコ航空(TK)</p> <p>TK-051 便 成田空港 10:05 発 イスタンブール 16:45 着</p> <p>TK-322 便 イスタンブール 21:10 発 アシガバット 02:45+1 着</p> <p>TK-325 便 アシガバット 07:40 発 イスタンブール 09:45 着</p> <p>TK-050 便 イスタンブール 13:50 発 成田空港 07:40+1 着</p> <p>エミレーツ航空</p> <p>EK-319 便 成田空港 22:00 発 ドバイ 03:40+1 着</p> <p>FZ-731 便 ドバイ 07:05 発 アシガバット 10:35 着</p> <p>FZ-732 便 アシガバット 11:40 発 ドバイ 13:20 着</p> <p>EK-318 便 ドバイ 02:50+1 発 成田空港 17:35 着</p> <p>(参考です。シーズンにより時間は変わります。詳しくはお問い合わせ下さい。+1は翌日になります。)</p>
---	---



このプランへのお問合せ・お申込みは

親切 丁寧 安心 便利、テラーメイド専門旅行社だから出来る貴方だけのオンリーワンの旅

こだわりの旅(特許庁登録商標)・株式会社トラベルプラザ

TEL : 0274-22-5500 FAX : 0274-22-5400

E-MAIL : info@travel-plaza.co.jp

## 見どころ



### ★首都アシガバットの夜景

多くの建物は白大理石、それを白色光でさらにライトアップしている街がヴェールに包まれたトルクメニスタン・首都アシガバット、無機質な砂漠の中に整然と並ぶ白い大理石の建築物、広い道路、訪れた初日は人々の生活感のない異様とも思える違和感を覚えますがなれるに従いダウタウンのバザール等では中央アジア特有の人々の活気と暮らしを見ることが出来ます。やはりこの街も古代シルクロードの交易都市「異邦人」の歌詞が合う街です。特産のメロン、赤絨毯と装飾品の数々、機内、ホテルのロビー、新聞雑誌の目立つ場所には必ず大きな大統領の写真や肖像画が掲げられ中央アジアの北朝鮮と言われてしまう所以なのでしょうが、此処の国民は税金は勿論、水道光熱費や医療費、大学までの学費はずべて無料、子沢山の家庭には豪華マンションプレゼント、豊富な地下資源が国ならではです。



### 「アハル・テケ」飼育場

トルクメニスタン語で、アハル・テケ、世界一美しいと言われ、別名「黄金の馬」とも呼ばれています。トルクメニスタンが原産地の馬です。中央アジアの過酷な気候に適応した現存する最古の馬種の一つとされ、現在トルクメニスタンを主として世界では3500頭ほどが飼育されています。オリンピックの馬術競技でも数々のメダルに輝き、白い輝く毛並みは砂漠でのカモフラージュにも適応しているといわれ、古くはアレキサンダー大王に献上され東方遠征でも騎乗していた馬の子孫といわれています。アシガバット郊外の飼育場で見ることが出来ます。



ニサ遺跡

### 世界文化遺産 ニサの遺跡群

此処はトルクメニスタンの首都アシガバットからトルクメンバシ方面へおよそ30分(20km弱)、イランとの国境コペット・ダー山脈が一望できる丘にあります古の王国・パルティア発祥の地・ニサ遺跡です。パルティア王国は紀元前3世紀頃から紀元3世紀頃、中央アジアからメソポタミア、イラン、アフガニスタンまでの広大な領土を治めた国でした。パルティアン・ショットという戦法でローマ帝国と互角に戦い震え上がらせた騎馬民族と言われ「野武士軍団」のような激しい一面と華麗な文化を好んだ民族とも言われ、遺跡には王宮や庭園、ゾロアスター教の神殿、ワインの醸造所などが有り又、王の倉庫からは神像や土偶も出土されています。中でもニサのヴィーナス像や象牙のリュトン是有名です。これらの出土品はアシガバット市内の国立博物館で見ることが出来ます。



国立博物館



### このプランへのお問合せ・お申込みは

親切 丁寧 安心 便利、テラーメイド専門旅行社だから出来る貴方だけのオンリーワンの旅

**こだわりの旅**(特許庁登録商標)・株式会社トラベルプラザ

TEL : 0274-22-5500 FAX : 0274-22-5400

E-MAIL : info@travel-plaza.co.jp





### 「トルクメンバシ・魂のモスク」

別名：キプチャクモスクは中央アジアで最大のモスクとされています。2004年に建てられ初代大統領の名前が記されています。面積は凡そ1万8000平方メートル、ミナレットの高さは91メートルありトルクメニスタン独立の1991年を表しているそうです。モスクは約2万人を収容することができるとの事。モスクには8つの入り口があり内部は215平方メートルの絨毯が敷かれ床はとても暖かです。モスクの後ろには大統領の廟があり、内部には5つの石棺があります。(入口は衛兵が立ち撮影禁止)、中央は2006年に亡くなったニヤゾフ大統領の石棺と回りの4隅のものは初代大統領のご両親と1948年の地震で亡くなった2人の兄弟が埋葬されているそうです。



### ヤンギ・カラの奇岩群

首都アシガバットから空路1時間、トルクメニスタンのカスピ海リゾート、トルクメンバシユから内陸へ砂漠の中を4輪駆動車で道なき道を走ります。途中にはラクダの群れがのどかに・・・着いたところは荒涼とした砂漠に忽然と現れるグランドキャニオンにも勝るとも劣らぬ台地と裂け目、ヤンギ・カラが開けます。台地は石灰質と茶色の地層によって形成されかつて此処が海底であったことを思わせる無数の貝殻の化石も見られます。風雨により浸食削られた台地は遙か彼方まで奇岩が連なり大きなテーブル状の台地からは、遠く地平線までのダイナミックな光景が広がります。



ティムールミナレット



トレベクハムニ廟

### クフナ・ウルゲンチの世界文化遺産

#### クトルグ・ティムール・ミナレットとトレベク・ハムニ廟

首都アシガバットからダショウグズまで空路約一時間弱、又はウズベキスタン国境ヌクスから陸路ボーダーを越えて古代ホレズムの都、クフナ・ウルゲンチ、都市の起源は、アケメネス朝ペルシャ時代初頭(B.C.6～5世紀)に遡ります。712年にアラブ人に侵略され、グルガンジ(ウルゲンチの語源)と名付けられ、10～14世紀頃には東西交易の中心地として繁栄し、特に12世紀にはホラズム朝の首都として、中央アジア第2の都市となりました。旧市街には主に11～16世紀のモスクや隊商宿(キャラバンサライ)、要塞などの跡が残されています。また、クトルグ・ティムール・ミナレットは67mの高さで、中央アジアでは最も高いミナレットです。道路の反対側にトレベク・ハムニ廟があります。廟では地元の敬虔なイスラム教の信者がお参りをしています。17世紀には町の繁栄の源でもあったアムダリア川の流れが変わったこととも相まって、かつての繁栄を取り戻すことは有りませんでした。

まだ日本には乗り入れをしていません。  
トルクメニスタン航空  
航空会社コードは T5-  
機内の壁面には現在の大統領の写真が飾られています。



### このプランへのお問合せ・お申込みは

親切 丁寧 安心 便利、テラーメイド専門旅行社だから出来る貴方だけのオンリーワンの旅

**こだわりの旅**(特許庁登録商標)・株式会社トラベルプラザ

TEL : 0274-22-5500 FAX : 0274-22-5400

E-MAIL : info@travel-plaza.co.jp



**ダルヴァザの巨大なガスクレーター別名「地獄の門」**  
 ダルヴァザのアハル州にある村の砂漠の真ん中に巨大なガスクレーターがあります。1971年に地質学者がボーリング調査をした際、偶然、天然ガスに満ちた洞窟を発見し調査の過程で落盤事故が起き、採掘作業用の装置が置かれていた場所もろとも直径 50～100 メートルにもなる大きな穴が開いてしまいました。有毒ガスの放出を食い止めるため、火を着けることになりましたが、可燃性ガスが地下より絶え間なく吹き出るため、延々と燃え続ける事態となりました。その後、この穴を住民は「地獄の門(英語訳:The Door to Hell)」と名づけました。(日本語では「地獄の門」のほかに「地獄の扉」との直訳もされています)。現時点ではこの天然ガスの燃焼を食い止めることは技術的にも困難と判断され、また、天然ガスの埋蔵量自体が不明なため、今後いつまで燃え続けるのかもよく判っていないようです。



**世界遺産 メルブ遺跡**  
 首都アシガバットから空路約 1 時間弱マリの空港に到着します。市内から凡そ車で 3～40 分、広大な砂漠の中にメルブ遺跡があります。中央アジア最大のこの遺跡は古くはシルクロードのオアシス都市として栄え、最盛期の 11～12 世紀には人口は 100 万人に達したとも言われています。1999 年、トルクメニスタン初の世界遺産(文化遺産)に登録されました。写真の大キズカラは7世紀頃、ササン朝ペルシャ末期の豪族の居城だそうです。語源はトルコ語のキズカレ=乙女の城、からきています。40 人の女性を囲ったハーレム?、女性の社交場?刺繍等を習うところとか、諸説があります。現在は壁だけを残す日干しレンガ製で当時は2階建、高さは 20m、屋根が付いていたと言われています。

利用ホテル (参考)

<p>Asgabat: 5 ★ Grand Turkmenistan Hotel</p>	<p>Asgabat: 4 ★ Hotel Nisa</p>	<p>Asgabat: 4 ★ Hotel Ak Altyn</p>	<p>Asgabat: 4 ★ Hotel President</p>
<p>Mary 3 ★ Hotel Margush</p>	<p>Dashoguz 3 ★ Hotel Uzboy</p>		



**このプランへのお問合せ・お申込みは**

親切 丁寧 安心 便利、テラーメイド専門旅行社だから出来る貴方だけのオンリーワンの旅  
**こだわりの旅(特許庁登録商標)・株式会社トラベルプラザ**

TEL : 0 2 7 4 - 2 2 - 5 5 0 0 FAX : 0 2 7 4 - 2 2 - 5 4 0 0

E-MAIL : info@travel-plaza.co.jp